

第6普通科中隊 訓練検閲

1月23日(火)から25日(木)までの間、第6普通科中隊(中隊長 高正1尉)は中隊訓練検閲を受閲した。

積雪寒冷地における独立して行動する装甲車化中隊の行動を一連の状況下で実施した第6普通科中隊は、当初の受閲課目である至近距離射撃を良好な結果で終え、じ後、移行した夜間行進においても予期せぬ襲撃を冷静に対処して行進を完了し、じ後の戦闘準備へと繋げた。

24日(水)夕、市街地戦闘訓練場内スーパーにおいて数名の敵による人質立てこもりの状況が発生するや、一部の救出要員を派遣して人質救出の任務にあたり、日頃の訓練成果を如何なく発揮する等、中隊訓練検閲を終始高い練度で遂行した。



衛生小隊 訓練検閲



1月23日(火)から25日(木)までの間、衛生小隊(小隊長 松浦3尉)は小隊訓練検閲を受閲した。

衛生小隊は、積雪寒冷地における攻撃に任ずる連隊の衛生小隊としての行動において、部隊の人的損耗を最小限に抑え、仲間の命を救うという強い責任感を充分に認識した積極的な動作・適切な処置を実施した。

特に小隊の急患収容量を超える航空攻撃での大量損耗が発生した際は、迅速な救護処置と併せてヘリによる後送の調整も実施するなど、部隊の戦闘行動に多大な貢献を果たした。



補給小隊 訓練検閲



1月23日(火)から25日(木)までの間、補給小隊(小隊長 野呂2尉)は小隊訓練検閲を受閲した。

補給小隊は、積雪寒冷地における攻撃に任ずる連隊の補給小隊としての作戦全般に係わる行動において段列開設の傍ら、部隊への補給活動準備を迅速に進め、燃料・弾薬の受領と交付の任務を遂行した。

戦闘行動間における給油、弾薬補給は、作戦部隊の任務達成のために必要不可欠であり、補給小隊の行動は作戦全般に多大な影響があることを、隊員各々が充分認識し、訓練検閲を完遂した。



第73戦車連隊戦闘団訓練検閲参加

2月6日(月)から9日(金)までの間、第1普通科中隊(中隊長 小林1尉)は第73戦闘団訓練検閲に参加した。1月上旬の練成訓練を経て積極果敢な戦闘行動を展開した第1普通科中隊は、訓練検閲の成功に大きく貢献した。



【発行所】
普通科友の会

【協力】
第11普通科連隊
第1科広報班

【印刷所】
(株)フロンティア印刷

(第1面)
「第6普通科中隊
衛生小隊 補給小隊
訓練検閲」
「第73戦車連隊
戦闘団訓練検閲参加」

(第2面)
「第11普通科連隊
各種大会参加」
「第34回全自衛隊
拳法選手権大会」

(第3面)
「千歳バياسロン訓練隊
第54回日本選手権大会
第89回宮城スキー大会」
「全自衛隊スキー選手権大会参加
「冬季中隊訓練」

(第4面)
「第42回ちとせホルメン
コーレンマーチ支援」
「千歳機甲太鼓演奏支援」

(第5面)
「第5普通科中隊
重迫撃砲中隊
中隊スキー記録会競技会」
「予備自衛官招集訓練」
「自衛官候補生課程入隊式」

(第6面)
「定年退官者紹介」
「人事だより① 定期表彰」

(第7面)
「人事だより② 定期異動」

(第8面)
「NET99便り」
「普友会コーナー」

連隊行事予定

- 【4月】
・自衛官候補生入隊式
- 【5月】
・春季演習場定期整備
・師団創立記念行事
- 【6月】
・JALマラソン支援
・AC-TESC

第11普連 銃剣道訓練隊 各種大会参加

第55回千歳銃剣道選手権大会

◎ 団体戦 自衛官一部 優勝 11普連A

自衛官二部 優勝 11普連A

自衛官三部 第三位 11普連B

◎ 個人戦 23歳以下の部 優勝 福田 侑麻

23歳以下の部 準優勝 遠藤 順也

26歳以下の部 優勝 神田 勇喜

第10回東日本銃剣道優勝大会

先鋒 山内 孝地

次鋒 小林 凌太

中堅 齋藤 大樹

副将 安藤 司

大将 小野寺昌治

監督 山内 孝地

◎ ベスト8 進出

第22回北海道南部銃剣道選手権大会

◎ 団体戦 自衛官一部 優勝 11普連A

自衛官一部 準優勝 11普連B

◎ 個人戦 六段以上の部 優勝 山内孝地

六段以上の部 準優勝 鹿倉 久嗣

三段以下の部 優勝 小林 凌太

三段以下の部 準優勝 細谷 直希

第58回北海道銃剣道選手権大会

◎ 団体戦 自衛官成年第一部 第三位 11普連A

自衛官青年第二部 準優勝 11普連A

◎ 個人戦 自衛官成年三十歳以上

錬士六段以上の部 優勝 山内 孝地

自衛官青年第一部 優勝 菅野 誠



第34回全自衛隊拳法選手権大会

第11普通科連隊拳法訓練隊は、3月10日(土) 11日(日)の両日、自衛隊体育学校球技体育館(朝霞駐屯地)で行われた第34回全自衛隊拳法選手権大会に出場した。

各方面隊から予選を勝ち上がった強豪に加え、昨年のベスト8のシードチームを含めた計56個チームが参加し、昨年は2回戦進出に留まった無念を晴らすべく、選手全員が自らを鼓舞し試合に挑んだ。

竹内副連隊長以下、拳法担任官である重迫中隊長らが見守る中、Aチームが準々決勝まで駒を進め、大将戦まで纏れ込む白熱した試合を展開し、激闘の末に惜敗するも8年振りとなるベスト8進出を果たし、来年度のシード権を獲得した。個人戦においても、中量級に出場した第1普通科中隊・浦田凌士長が93名出場中、第3位の好成績を収め、来年度へと繋がる実りある大会となった。

◀▼ 気迫の試合を展開する選手ら



▶ 個人戦中量級第3位
1普中 浦田凌士長



▲ 熱い声援を送る副連隊長

千歳11普連バイアスロン訓練隊

第54回日本選手権大会・第89回宮様スキー大会

千歳11普連バイアスロン訓練隊は、3月4日（日）に開催された第54回日本選手権大会、及び3月10日（土）開催の第89回宮様スキー大会に出場した。

日本選手権リレーの部は6位入賞と健闘するとともに、個人スプリントでは重迫撃砲中隊 西澤裕太3曹が5位入賞を果たすなど奮闘を見せた。続いて行われた宮様スキー大会では惜しくも入賞を逃したものの7位となり、29年度の幕を閉じた。昨年の日本選手権大会で初優勝を成し遂げた選手たちにとって両大会の結果は満足いくものではなかったものの、確実に上位を狙える実力を持つチームである。来年度の更なる飛躍に期待する。



▲日本選手権（左）宮様大会（右）で応援に駆け付けた後援会の皆様

▲日本選手権大会 個人スプリント5位
重迫撃砲中隊 西澤裕太3曹

全自衛隊スキー選手権大会参加

3月17日（土）18日（日）ルスツリゾートスキー場で実施された、第25回全自衛隊スキー選手権（基礎）及び第45回全自衛隊スキー選手権（大回転）に、第11普通科連隊有志が、基礎には3チーム15名、大回転は1チーム5名で出場した。

両大会ともに11連隊Aチームが団体で5位に食い込み、また、同じく個人成績では第3普通科中隊 米田周平3曹が、基礎・大回転ともに5位に入るなど健闘をみせた。



▲基礎・大回転5位
第3普通科中隊 米田周平3曹

冬季中隊訓練

2月中旬から3月上旬にかけ、各中隊は積雪寒冷地における中隊訓練を実施した。

一夜二日で部隊訓練を実施した第3普通科中隊（中隊長 三田1尉）は、スキー行進からの宿営、飯盒炊飯、装甲戦闘車によるジョーリング等を行い、冬季における部隊行動の練度向上を図った他、本部管理中隊（中隊長 田原1尉）は、スキーを組み合わせて簡易的なソリを作成し、患者や物品の搬送訓練を実施するなど、各中隊は持てる装備を駆使しそれぞれの特性に合わせた訓練を行った。



▲2月21日～23日
2普中 部隊訓練



▲2月15日～16日
重迫中 特重訓練



▲2月13日～15日
6普中 中隊総出訓練



▲3月6日
本管中 特重訓練



▲2月28日～3月1日
3普中 部隊訓練



▲2月28日
1普中 スキー競技会

第42回 ちとせホルメンコーレンマーチ支援



▲ 雪上車によるコース整備



▲ 手作業による高架下への雪の搬送



▲ 有線構成を実施する通信小隊

2月11日(日)千歳市体育協会主催による第42回ちとせホルメンコーレンマーチの開催に伴い、第11普通科連隊は、平成元年以来、今回で30回目の支援に携わり、支援担任官 本部管理中隊長 田原耕治1等陸尉以下人員47名、車両15両をもって、コース整備、給食支援、通信及び救護支援任務を完遂した。

大会開催にあたり、2月7日(水)の準備開始からコース整備班は毎早朝現地に赴き、雪が積もらない高架下への手作業による雪の搬送や、雪上車によるコースの圧雪に尽力した。通信小隊は、スタート地点から大会本部までの有線構成を準備期間中に完成させるとともに、大会当日の放送業務も円滑に行い、大会の進行に寄与した。給食支援や選手の救護にあたる衛生小隊も現地において物品準備を万全にし、それぞれが大会進行の原動力となった。

参加した約300名の選手は、氷点下の気温を吹き飛ばす熱い滑走を見せ、支援隊員らは、大会成功の任務を果たし、大会役員とともに、ホルメンコーレンマーチ成功を相互に称えた。



▲ 救護準備を行う衛生小隊



▲ 隊員による給食支援



▲ スタートの様子

また、夜の演奏となったダイナミックナイトとファイナルステージでは、氷濤まつりで初披露となる新曲「花火」の曲間に花火が打ち上げられ、訪れた外国人観光客も含む多くの観客を魅了した。
演奏日には宮内連隊長が激励に訪れ、極寒の中で演奏支援を行う隊員らを温かく見守り、勇壮な演奏を堪能した。



◀ 2月11日
ダイナミックナイト



◀ 1月27日
オーブニング

千歳機甲太鼓演奏支援

千歳市の冬の一大観光イベントである千歳支笏湖氷濤まつり(1月27日(土)から2月18日(日)まで)開催に伴い、千歳機甲太鼓の演奏支援を実施した。

太鼓演奏は、期間中3度行われ、支笏湖国際太鼓・支笏湖国際太鼓ジュニア・清流長都太鼓・千舞泉美太鼓が参加し各太鼓チームと共に千歳支笏湖氷濤まつりを盛り上げた。



◀ 激励に訪れた
宮内連隊長



◀ 2月18日
ファイナルステージ



第5普通科中隊 合同スキー記録会・競技会 重迫撃砲中隊

▼ 同時スタートで闘争心を燃やす隊員ら



2月23日(金)、第5普通科中隊(中隊長 安達3佐)は中隊スキー記録会を、重迫撃砲中隊(中隊長 金丸1尉)は小隊対抗スキー競技会を、2個中隊合同で実施した。中隊毎の記録会並びに競技会であったが同時スタートで実施した事により、中隊対抗競技会の様相を呈し、各隊員の闘争心をかきたてた。加えて、参加した両中隊長が、寒風を吹き飛ばす熱い走りを見せて中隊を牽引した事で、中隊の更なる団結強化が図られた。



▲ 全力を出し尽くし 燃え尽きる隊員



▲ 燃える闘志 5中隊長(左)



▲ 燃える闘魂 重迫中隊長(右)

予備自衛官招集訓練

▶ 検定射撃の為に射撃予習



第4普通科中隊(中隊長 加藤1尉)は、1月19日(金)から1月23日(火)までの間、予備自衛官招集訓練を実施した。予備自衛官に志願した退職隊員に対し、自衛官としての基礎能力を維持させ、有事の際、即応出来る態勢を整える事を目的とした趣旨を充分理解した第4普通科中隊隊員による真剣な取り組みで、小銃射撃、無線機教育、体力検定等、滞りなく招集訓練を終了した。



▶ 無線機の取り扱い要領を演練

平成30年度 自衛官候補生課程入隊式

桜の開花の便りがまだ遠い4月8日(日)東千歳駐屯地西体育館において、自衛官候補生課程入隊式が執り行われた。

式は千歳市長 山口幸太郎様ほか多数の御来賓と100名を越すご家族らの見守るなか厳粛に進められた。執行官である宮内連隊長から自衛官を目指す候補生達に「進んで難局にあたれ」「同期の絆を大切にせよ」の、二つの要請事項が達せられた。

滞りなく入隊式を終えた自衛官候補生らは、御家族との会食、懇談により和やかな時間を過ごした。入隊式を経て『自衛官になる』という自覚を芽生えさせた自衛官候補生達は、これから約三ヶ月に及ぶ教育訓練に臨む。笑顔で送り出してくれた家族の応援を背に、立派な自衛官となることを切に望む。





永年の勤務
お疲れ様でした
新転地での活躍を
期待しています

定年退官者紹介



曹長 大崎 昇
(平成30年1月16日付)



1曹 吉秋 孝英
(平成30年1月14日付)



2尉 後藤 浩一
(平成30年1月13日付)



曹長 中野 省二
(平成30年3月23日付)



曹長 金子 俊哉
(平成30年2月4日付)



2佐 後藤 和弘
(平成30年1月17日付)

同	5 普中	同	4 普中	同	3 普中	同	同	2 普中	同	同	1 普中
2 曹	曹長	2 尉	1 尉	2 曹	2 曹	3 曹	1 曹	1 曹	1 曹	1 曹	曹長
金森	流郷	小林	鈴木	武井	鈴木	鹿倉	嵯峨	守谷	藤田	稲垣	永山
和則	正男	健人	幸弘	保	正人	久嗣	康彰	智浩	哲也	雅紇	康弘

▼第4級賞詞（職務遂行）

連隊長表彰

連本	同	同	1 普中
1 尉	1 尉	准尉	1 尉
尾形	秋山	吉田	鈴木
孝信	満彦	剛	俊祐

▼第3級賞詞（職務遂行）

師團長表彰

平成30年3月22日付

定期表彰

人事だより
①

おめでとうございます



▼褒章

重迫中 士長 四條 勇希

▼車両4級

3 普中 2 曹 松田 俊介

▼第5級賞詞（職務遂行）

同	同	同	重 迫 中	同	6 普 中
2 曹	2 曹	2 曹	1 尉	3 曹	1 曹
坪 内	宇 美	茶 屋	佐 々 木	喜 多	吉 田
貴 臣	翔 太	達 夫	兼 吾	基 成	明 弘

人事だより②

定期異動

平成30年3月23日付

【転出】

▼幹部

(連本) 1尉 藤松 壽一
(同) 1尉 秋山 満彦
(1普中) 1尉 鈴木 俊祐
(2普中) 3尉 馬場 圭亮
(4普中) 1尉 鈴木 幸弘
(6普中) 3尉 徳丸 史博
(同) 3尉 向山 洗平
(重迫中) 1尉 佐々木兼吾
(同) 3尉 加藤みのり
(本管中) 准尉 荒井 薫
(同) 曹長 新田 厚弘
(同) 1曹 大槻 剛志
(同) 1曹 中川 広則
(1普中) 曹長 永山 康弘
(同) 1曹 藤田 哲也
(同) 1曹 藤本 博
(同) 1曹 藤本 博
6普連(美幌)

(1普中) 2曹 五十嵐 令
(2普中) 曹長 富田 圭
(同) 3曹 志平 恵一
(同) 3曹 鹿倉 久嗣
(3普中) 2曹 鈴木 正人
(同) 3曹 野呂 貴宏
(同) 3曹 佐藤 準也
(4普中) 1曹 阿部 秀治
(同) 1曹 渡部高太郎
(同) 7師付(東千歳)
(同) 2曹 上野 喬
(同) 15旅団(那覇)
(同) 2曹 得永 正大
(同) 3曹 堤 元章
(同) 3曹 高西 信也
(5普中) 1曹 小谷 俊一
(同) 3曹 松田 貴史
(6普中) 3曹 喜多 基成
(重迫中) 1曹 本間 康之
(同) 26普連(留萌)
(同) 2曹 茶屋 達夫
(同) 3普連(名寄)
(同) 2曹 宇美 翔太
函館駐業(函館)

【転入】

▼幹部

(重迫中) 2曹 武井 慎吾
32普連(大宮)
(1普中) 3尉 坂本 靖治
(2普中) 2尉 北平 翔大
(同) 3尉 片岡 英介
(3普中) 2尉 下渡 晃大
(6普中) 3尉 若菜 正義
(重迫中) 2尉 渡部 健人
(本管中) 准尉 角田 良章
(同) 准尉 佐久間 博
(同) 18普連(真駒内) から
(同) 2曹 堀井 涼
(同) 39普連(弘前) から
(同) 3曹 阿部 一貴
(同) 20普連(神町) から
(同) 3曹 小野 美咲
(同) 17普連(山口) から
(同) 3曹 石井 守之
(1普中) 1曹 石川 渉
(同) 東千歳(東千歳) から
(同) 1曹 水品 光
(同) 2普連(高田) から
(同) 1曹教(東千歳) から
(同) 3曹 上野 悟
(同) 4普連(帯広) から
(同) 6普連(美幌) から
(同) 3曹 菅野 充俊
普教連(滝ヶ原) から

(2普中) 3曹 三橋 永遠
(同) 3曹 太田 光
(3普中) 2曹 高橋 修
(同) 3曹 弘本 伎
(4普中) 2曹 對馬 洋憲
(同) 3曹 菅原 智史
(同) 32普連(大宮) から
(同) 34普連(板妻) から
(同) 3曹 大竹 正俊
(同) 44普連(福島) から
(同) 3曹 佐藤 貴文
(5普中) 3曹 小野 悠人
(6普中) 曹長 勝又 春治
(同) 普教連(滝ヶ原) から
(同) 曹長 阿部 啓二
(同) 1曹教(東千歳) から
(同) 2曹 星子 範夫
(同) 22普連(多賀城) から
(同) 2曹 佐々木幸貴
(同) 9師付(青森) から
(同) 21普連(秋田) から
(同) 3曹 上地 光
(重迫中) 2曹 泉野 淳
(同) 2曹 戸澤 崇利
(同) 25普連(遠軽) から
(同) 2曹 鈴木 博之
(同) 26普連(留萌) から
(同) 1曹 遠藤 徹
1曹教(東千歳) から

【一部内移動】

▼幹部

(連本) 1尉 芝 淳一郎
(同) 2尉 吉田 誠一
(同) 2尉 鈴木 寿純
(本管中) 3尉 松浦 巨樹
(2普中) 1尉 中山 洋一
(5普中) 2尉 柴里 拓也
(本管中) 曹長 畠山 武彦
(同) 曹長 栄田 嘉章
(同) 1曹 千田 雄一
(同) 2曹 本川 仁士
(同) 2曹 井口 裕紀
(同) 2曹 坪内 貴臣
重迫中から

(1普中) 2曹 久米田一真
本管中から
(5普中) 准尉 小松 均
本管中から
(重迫中) 2曹 徳家 智幸
本管中から

それぞれの任地での
益々のご活躍を
ご祈念致します



NET99便り

意識改革その4
『青春』

最近、70代後半の女性2人と話す機会があり、その方の活動に驚きと感銘を覚えました。

お一方は、私も今年誘われて入会した、千歳のとある工芸協会の会長で、10月に開催された2日間の展覧会を取り仕切り、1・2階の会場を階段を使って何度も行き来する姿

もう一方は、多くの習い事(フラダンス・ウクレレ・コーラス・俳句・裁縫・・・etc)をしながら、地区の行事にも活発に参加する姿

そのお二方をみて、以前紹介(2011年1月号)したドイツ出身のアメリカの詩人「サミュエル・ウマン」という著名な詩人の詩「青春とは」を思い起こしました。

今回、「意識改革」の一環として、今一度ご紹介します。

「青春とは」

「青春」とは、人生の「ある」期間ではなく心の持ち方を言う。

薔薇の面差し、紅の唇、しなやかな手足ではなく、たくましい意志、豊かな想像力、燃える情熱を指す。

「青春」とは、人生の深い泉の清新さを言う。

「青春」とは、臆病さを退ける勇氣、安きにつく気持ちを切り捨てる冒険心を意味する。

時には20歳の青年よりも60歳の年に青春がある。年を重ねただけで、人は老いない。理想を失う時、初めて老いる。歳月は皮膚にしわを増すが、情熱を失えば心はしぼむ。苦悩、恐怖、失望により気力は地に這い、精神は芥(あくた)になる。

60歳であるうと、16歳であるうと、人の胸には、驚異に魅かれる心、おさなごのような未知への探究心、人生への興味の歓喜がある。君にも吾にも見えざる駆通(えきてい)がある。

心にある。人から、神から美・希望・よろこび・勇氣・力の靈感を受ける限り、君は若い。靈感が絶え、精神が皮肉の雪におおわれ、悲觀の氷に閉ざされる時、20歳であるうと人は老いる。

「頭(こうべ)を高く上げ、希望の波をとらえる」限り、80歳であろうと人は青春にして已(や)む。

サミュエル・ウマン

如何でしょうか？

「青春」とは、人生の「ある」期間ではなく心の持ち方を言う。

いつまでも「青春」であり続けたいものです。

NET99 相談員 後藤幸夫

NET99へのお申し込み

TEL.011-572-9900(受付0900~2200)

メール:net99@mbr.nifty.com

※直接相談員へどうぞ

11普通OB 後藤 幸夫

「普友会コーナー」

普友会の皆様におかれましては新年度を迎え御壮健にてそれぞれの目標にむかって充実した日々を送られていることと御推察致します。

本年は平成の御代30年の桂節にあたります。普友会も結成以来30周年になります。この圭事にともない2月6日に実施されました役員会において6月に総会、9月に30周年記念祝賀行事を行うことが決定いたしました。

つきましては多くの会員の皆様から行事実施にあたっての御意見、御希望等事務局に御一報いただければ幸いです。尚29年度の各種事業につきましては皆様の御協力により、滞りなく終わっております。今後共皆様の御協力を宜しくお願い致します。

※本年度は連隊におかれましても多くの行事等が予定されております。非常に多忙とは思いますが行事等に参加をして隊員の激励をしていただければ幸いです。

普友会副会長 寺澤 博

パソコン・スマホで
11連隊の事が分かる！
右の画面が目印→

第11普通科連隊
ホームページ
へアクセス！
※逐次更新中！！



第11普通科連隊ホームページ

連隊ホームページ

検索

〈担当者の独り言〉

2月に開催された冬季平昌オリンピックで、日本は冬季オリンピック史上最多のメダルを獲得しました。メダルの多さもさることながら、選手の行動に胸を打たれた方も多いと思います。特にスピードスケートの小平奈緒選手の立ち振る舞いに感銘を受けました。歓声に沸く会場を制し、次に決戦に挑む者への配慮を怠らないフェア精神。競技後のライバル選手を称え、包み込む深く大きな心。

他人への思いやりを欠く言動は、いずれ己の身に返って来ます。今一度、小平選手の精神を思い返し、行動したいものです。

担当者 山川